

令和3年度事業報告

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴い、社会の多方面での自粛を余儀なくされました。

兵庫県防犯協会連合会（以下、県防連と表記）の事業につきましても、理事会、定時総会を中止し書面決議としました。コロナ禍で活動に制限がある中、公益法人としての精神を遵守し、できる範囲で運営努力してまいりました。県内53単位防犯協会による防犯ボランティア活動の支援や、全国防犯協会連合会、単位協会間の連絡調整役として、各種事業の推進に努めました。

さて、我が国を取り巻く世界の情勢を見ますと、新型コロナウイルス感染拡大で世界規模での対策がとられ、各国においてはロックダウン(都市封鎖)が行われたり、入国規制などで経済をはじめとした社会活動が世界的に大きく落ち込みました。

我が国におきましても、新型コロナウイルス感染拡大で社会活動が制限されました。そのような中でしたが、東京オリンピック・パラリンピックが開催され日本選手の活躍もあり成功裏に終了いたしました。

兵庫県内に目を転じますと、刑法犯の認知件数が近年減少傾向を示している中、コロナ禍で社会活動が低下したこともあり、昨年に引き続き戦後最低を更新し、数字的には良好な状況が認められました。一方、警察の取締りや各種啓発活動にも関わらず、オレオレ詐欺、還付金詐欺に代表されるいわゆる特殊詐欺被害が全国よりも飛び抜けて多い状態で推移しました。また、スマートフォンを介した年少者の性的被害が目立っており懸念されております。これらの被害者は高齢者、年少者で、いわゆる被害弱者を中心としたものであり、地域社会として守っていかなければならない存在です。

防犯協会は「安全・安心」のために地域に密着した地道な防犯ボランティア活動を行っており、住民の身近な存在としてその重要性は一層増しております。しかし、実情は資金面の逼迫、構成員の高齢化など厳しい状況があり、活動資金面、人材面での確保が喫緊の課題となっております。

このような状況の中、県防連では、令和3年度も犯罪被害の減少と、「安全で安心して暮らせるまち」の実現を目指し、引き続き「みんなで作ろう安心のまち」をスローガンとして、

- ・ 防犯組織の拡充強化と地域安全活動の推進
- ・ 少年の健全育成及び非行防止活動の推進
- ・ 覚醒剤等薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の推進
- ・ 暴力団追放運動の推進
- ・ 防犯優良マンション・防犯設備優良住宅認定制度の促進

を図るため、警察をはじめ、地方公共団体等の関係機関・団体と連携・協働しながら、下記のとおり各種事業を推進しました。

記

第1 定例会の開催

1 第28回理事会(みなし決議)

令和3年6月7日、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一般法人法、公益社団法人兵庫県防犯協会連合会定款等関係法令に基づき理事会を書面によるみなし決議とし、令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告、第14回定時総会の中止について原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告、緊急措置としての正会員会費の減額措置について報告しました。

2 第14回定時総会(みなし決議)

令和3年6月30日、みなし決議で令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告について原案どおり承認されました。

また、定款の一部変更(副会長を2名にする)、理事の選任、監事の選任についても原案どおり承認されました。

また、報告事項として、令和3年度事業計画、令和3年度予算、緊急措置としての正会員会費の減額措置について報告しました。

3 第29回理事会(みなし決議)

令和3年6月30日、会長、副会長及び専務理事の選定をみなし決議で行い、会長に武内重治、副会長に木村健、増田晴信、専務理事に姫田正憲を議案通り選定しました。

4 第30回理事会

令和4年3月15日に行い、令和3年度補正予算案、令和4年度事業計画案、令和4年度予算案について原案どおり承認されました。また会長に増田晴信、副会長に吉住渉を原案どおり選定しました。

5 令和3年防犯功労者等表彰式

表彰式は中止とし、以下受賞団体(者)へ郵送等で授与しました。

- ① 優良防犯団体表彰：六甲山観光株式会社 以下14団体
- ② 善行青少年団体表彰：美野丘子ども見守りた〜い、神戸市外国語大学ボランティアコーナー学生スタッフ の2団体
- ③ 防犯功労者表彰：東灘防犯協会 田中茂雄 以下71名
- ④ 防犯功労警察官感謝状：警察本部生活安全企画課 弓指直也 以下15名

合計16団体86名

6 防犯協会職員研修会及び意見交換会

令和4年1月中に開催を予定していたものの、まん延防止期間中であつたため中止とし、各単位防犯協会へ書面での指示としました。

第2 事業概要

1 県防連事務局の自主事業

(1) 防犯ポスター・防犯標語コンクールの実施

令和3年6月18日、兵庫県警察本部西庁舎会議室において、兵庫県警察生活安全企画課担当者、兵庫県地域安全課担当者、暴力団追放兵庫県民センター担当者、県防連専務理事等を審査委員として実施しました。

結果は下表のとおりです。

テーマ	防犯ポスターの部		防犯標語の部	
	全防連送付数	応募総数	全防連送付数	応募総数
特殊詐欺・悪質商法の被害防止	6	32	6	99
暴力団への加入阻止	全防連選考外	14	3	55
計	6	28	9	241
青パト活動中の写真	0	2	—	—
参 考	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯関係優秀作品を県防連会長名で表彰しました。 ・暴力団関係ポスター優秀作品は暴追センター理事長名で表彰しました。 			

(2) 善良な風俗の保持及び風俗環境浄化事業の推進（収益事業）

県防連は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づき、兵庫県公安委員会から「兵庫県風俗環境浄化協会」として指定され、警察本部長からの業務委託を受けて、下の「ア業種別現地調査件数の状況」とおり、風俗営業に係る新規許可申請及び構造変更承認申請に伴う現地調査業務を合計145件実施しました。

また、風俗営業管理者に対する法定講習につきましては、令和3年度に「イ風俗営業管理者講習の受講者数と講習回数の状況」のとおり、7回220人に対して実施し、管理者の管理能力の向上と遵法意識の高揚に努めました。

なお、上記講習は業種ごとに概ね3年に1度実施しており、令和3年度は4号営業(麻雀・パチンコ)、5号営業(ゲームセンター)を対象として実施しました。

受講者に対しては、法定の講習内容に加えて、現下の犯罪情勢、特殊詐欺の被害防止、少年の犯罪被害防止等について講話するなど、県下の犯罪抑止のための広報・啓発にも努めました。

ア 業種別現地調査件数の状況

区分	新規許可申請								構造・設備の変更承認申請								合計
	1号	2号	3号	4号		5号	特定遊興	小計	1号	2号	3号	4号		5号	特定遊興	小計	
				麻雀	パチンコ							麻雀	パチンコ				
4	12	0	0	0	0	1	0	13	0	0	0	0	3	0	0	3	16
5	6	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
6	12	0	0	1	0	1	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
7	10	0	0	0	0	1	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
8	5	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	1	8
9	8	0	0	1	0	2	0	11	1	0	0	0	0	1	0	2	13
10	8	0	0	0	0	1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
11	12	0	0	0	1	0	1	14	1	0	0	0	1	0	0	2	16
12	11	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	4	0	0	4	15
1	5	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	1	0	0	1	7
2	11	0	0	0	1	0	0	12	0	0	0	0	1	0	0	1	13
3	10	0	0	0	1	0	0	11	3	0	0	0	2	0	0	5	16
合計	110	0	0	3	5	7	1	126	5	0	0	0	13	1	0	19	145

イ 風俗営業管理者講習の受講者数と講習回数(○数字)の状況

月別	1号営業	2号営業	3号営業	4号		5号営業	特定遊興	計
				麻雀	パチンコ			
4	0	0	0	0	0	0	0	—
5	0	0	0	0	0	0	0	—
6	0	0	0	0	0	0	0	—
7	0	0	0	0	0	0	0	—
8	0	0	0	0	0	0	0	—
9	0	0	0	0	0	61	0	② 61
10	0	0	0	5	11	2	0	① 18
11	0	0	0	3	65	7	0	② 75
12	0	0	0	0	50	0	0	① 50
1	0	0	0	0	0	0	0	—
2	0	0	0	0	5	11	0	① 16
3	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	0	0	8	131	81	0	⑦ 220

(3) 兵庫県防犯優良マンション認定制度事業

本事業は、「地域安全まちづくり条例」（平成18年兵庫県条例第3号）に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、犯罪に遭いにくい構造・設備の基準を充足した集合住宅（マンション）を「防犯優良マンション」に認定し、防犯性の高い安全快適な住宅環境を提供する制度として、平成19年度に運用を開始し、令和3年度末までに計135件を認定しています。その進捗状況は下表のとおりです。

* 認定実施機関

- ① 公益財団法人 兵庫県住宅建築総合センター
- ② N P O 法人 兵庫県防犯設備協会
- ③ 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

【 進 捗 状 況 】

区分/年度	19～30	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
申請件数	128	4	4	6	142
認定件数	126	1	4	4	135

注) 申請年度と認定年度は建設期間があるため合致しません。

注) 認定番号と認定数は過去に欠番があり合致しません。

(4) 兵庫県防犯設備優良住宅認定制度事業

本事業は、兵庫県防犯優良マンション認定制度に準ずるものとして、「地域安全まちづくり条例」及び「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、兵庫県防犯優良マンション認定制度の対象外である戸建て住宅等を対象として、防犯優良建物部品等を取り入れるなど必要な防犯対策を施した住宅を「防犯設備優良住宅」として認定し、防犯性能に優れた住宅を提供する制度として、平成29年6月12日から運用を開始しましたが、令和3年度末では計3件の認定に止まっています。（令和3年度、申請、認定共になし）

なお、新制度について大阪府、京都府と協議中

* 認定実施機関

- ① N P O 法人 兵庫県防犯設備協会
- ② 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

(5) 兵庫県防犯優良駐車場登録制度事業

平成23年度にNPO法人兵庫県防犯設備協会との合同事業としてスタートした事業ですが、25年度以降の申請はありません。

(6) 令和3年度兵庫県警察少年柔道・剣道大会の中止

コロナ禍、大会は令和2年に続き中止されました。

(7) 企業対象の情報セキュリティセミナーの共同開催

県警サイバー犯罪対策課では、平成26年度から開催している企業対象の情報セキュリティセミナーを令和3年度も開催し、県防連としては賛助会員企業への開催案内を発出しました。警察本部担当者からサイバー犯罪の現状について説明が行われたほか、セキュリティ専門家による講演等を通じて、情報セキュリティ対策の普及啓発に努めました。

(8) 全国地域安全運動兵庫県民大会の中止

コロナ禍、大会は中止されましたが、全国地域安全運動そのものは行われ、単位防犯協会では、縮小簡素化ではありますが各種活動は行われました。

(9) 防犯カメラの設置促進

犯罪発生後の被疑者検挙のみならず、犯罪抑止力としても大きな力を発揮している防犯カメラの有用性は論を俟たず、令和3年度においても兵庫県から500台分、神戸市を始め他の自治体においても防犯カメラ設置補助金が交付され設置を推進し、自主事業としての防犯カメラの設置が進められております。県民、市民の安全確保と安心感の提供のために、今後とも各自治体による積極的な支援が継続されることを期待するところであります。

なお県防連専務理事は、兵庫県の防犯カメラ選定審査委員となっており、防犯カメラの適正な設置場所の選定等に関して助言等に努めました。

(10) 特定非営利活動法人 日本ふれパト協会(旧ひょうごふれあいランニングパトロール)への協賛

地域防犯パトロール推進プロジェクトとして、平成29年12月に、兵庫県警察本部、アシックス、神戸新聞社が協定を結び「ひょうごふれあいランニングパトロール」が発足し3年間の活動後、「特定非営利活動法人 日本ふれパト協会(令和3年3月30日神戸市認定)」（代表理事 中沼丈晃）を立ち上げ、全国展開を目指しています。

(11) 防犯ボランティア、学生ボランティア活動支援

令和4年2月8日、「令和3年度次世代学生防犯ボランティアリーダー研修会」をオンライン開催され、関西国際大学防犯サークル(ひごの守)学生3名と専務理事が参加しました。

(12) 少年の健全育成と有害環境の排除活動等支援

ア 機関紙・ポスター・地域安全ニュース等の発行等

- ① 機関誌「愛のともしび」(年1回計17,800部)
- ② 防犯啓発ポケットティッシュ(16,000個)
- ③ 小学校低学年向け被害防止冊子「うたこちゃん危機一髪」を購入し小学校、幼稚園を中心に配付(7,600冊)
- ④ 少年補導員広報紙「みちびき」(3,888冊)

イ 少年の健全育成事業「立ち直り」支援事業への支援

警察本部少年課と連携し、少年らの立ち直りを図ることを目的とした支援活動として、卓球、科学館見学、釣りなどの機会を与える活動支援を行ったほか、ゲーム依存、大麻依存などの依存症対策として病院とも連携し、受診した際の初診料を支援するなど関係機関との連携を図りました。

(13) 若年者の大麻事案が増加していることから、大麻乱用防止啓発のための冊子を神戸市教育委員会、警察本部薬物銃器対策課、少年課に配付するなど連携した取組を行いました。

(14) 県警キャラクター「まもりちゃん」着ぐるみの貸し出し

平成26年度に購入した「まもりちゃん」の着ぐるみは、県警県民広報課へ貸与しており、各種行事、キャンペーン等で活用されており、警察と市民の架け橋役として有効に活用されています。現時点での着ぐるみの破損等はありません。

(15) 事前警告機能付通話録音装置

特殊詐欺被害防止のための同装置を、警察本部地域安全企画課と連携して県下警察署、単位防犯協会を通じて貸し出し等を行いました。

(16) 関係機関・団体との連携

令和3年度も例年どおり、県企画県民部地域安全課、同健康福祉部健康局薬務課、神戸市危機管理室、神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課及び警察本部組織対策局組織犯罪対策課、同生活安全部生活安全企画課、生活環境課、少年課、サイバー犯罪対策課並びに防犯関連の各種団体・機関と連携し防犯活動に当たりました。

(17) 賛助会員年度別入会状況

年度	元年度	2年度	3年度
入会数	1	3	4
金額(万円)	1	4	6

2 単位防犯協会との共同事業等

(1) 組織の整備と活動の活性化

ア 単位防犯協会支部等の活動

各単位防犯協会においては、各支部長を中心として、地元自治会、防犯ボランティア団体等との「防犯パトロール、街頭キャンペーン」を実施し、組織力の拡大と活動の強化を図りました。

県防連では、「ラジオ関西」のスポット放送(90秒)として「防犯一言コメント」を月6本、年間72本を流しています。令和3年度は「特殊詐欺被害防止」「ク

ロスボウ所持禁止」を中心に広報しました。

イ 防犯連絡所

防犯連絡所は、その役割が縮小してきております。地域間格差も顕著な状況があり、県下一律に現行の防犯連絡所の制度そのものが必要であるか検討の余地があります。

ウ 少年保護活動の推進

「県防連会長」が委嘱した県下の少年補導員2,666名が、子どもの登下校時における見守り活動、薬物等依存防止活動、青少年の健全育成を目的に取り組みました。

エ 兵庫県教育委員会主宰の「トライやる・ウィーク」については、県防連単独での受け入れはないものの、関係機関、警察署への支援は単位防犯協会が対応しています。

(2) 総合的な地域安全活動等自主防犯意識の普及促進

コロナ禍、街頭犯罪は減少し刑法犯認知件数も戦後最低を再更新しましたが、いわゆる特殊詐欺被害が顕著であったことから、各単位防犯協会が各警察署と協働し、自治会、町内会を始め、PTA、婦人会、子供会等に防犯対策等の情報を発信して自主防犯意識の高揚に努めました。

(3) 暴力団追放運動の推進

例年開催される「暴力団追放兵庫県民大会」は中止され、11月2日、兵庫県土地改良会館において「暴力団追放運動功労者表彰式」が行われました。

令和3年度決算報告

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
I	資産の部								
	1 流動資産								
	現金預金	11,186,376			15,270,890			-4,084,514	
	未収金	345,820			234,883			110,937	
	流動資産合計	11,532,196			15,505,773			-3,973,577	
	2 固定資産								
	(1) 特定資産								
	退職給付引当金預金	1,255,846			952,840			303,006	
	特定資産合計	1,255,846			952,840			303,006	
	(2) その他の固定資産								
	什器備品	6			6			0	
	投資有価証券	3,000,000			3,000,000			0	
	その他の固定資産合計	3,000,006			3,000,006			0	
	固定資産合計	4,255,852			3,952,846			303,006	
	資産合計	15,788,048			19,458,619			-3,670,571	
II	負債の部								
	1 流動負債								
	未払金	9,428			0			9,428	
	預り金	544,453			460,759			83,694	
	流動負債合計	553,881			460,759			93,122	
	2 固定負債								
	退職給付引当金	1,255,846			952,840			303,006	
	固定負債合計	1,255,846			952,840			303,006	
	負債合計	1,809,727			1,413,599			396,128	
III	正味財産の部								
	1 指定正味財産	0			0			0	
	2 一般正味財産	13,978,321			18,045,020			-4,066,699	
	(うち特定資産への充当額)	(1,255,846)			(952,840)			(303,006)	
	正味財産合計	13,978,321			18,045,020			-4,066,699	
	負債及び正味財産合計	15,788,048			19,458,619			-3,670,571	

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 資産の部										
1 流動資産										
現金預金	591,104	538,241		1,129,345		9,706,663		9,706,663	350,368	11,186,376
未収金	180,490			180,490		165,330		165,330		345,820
流動資産合計	771,594	538,241	0	1,309,835	0	9,871,993	0	9,871,993	350,368	11,532,196
2 固定資産										
(1) 特定資産										
退職給付引当金預金	641,612	126,464		768,076	120,310	116,040		236,350	251,420	1,255,846
特定資産合計	641,612	126,464	0	768,076	120,310	116,040	0	236,350	251,420	1,255,846
(2) その他固定資産										
什器備品	2	1		3	1	1		2	1	6
投資有価証券	3,000,000			3,000,000				0		3,000,000
その他の固定資産合計	3,000,002	1	0	3,000,003	1	1	0	2	1	3,000,006
固定資産合計	3,641,614	126,465	0	3,768,079	120,311	116,041	0	236,352	251,421	4,255,852
資産合計	4,413,208	664,706	0	5,077,914	120,311	9,988,034	0	10,108,345	601,789	15,788,048
II 負債の部										
1 流動負債										
未払金				0		1,140		1,140	8,288	9,428
預り金	319,760			319,760				0	224,693	544,453
流動負債合計	319,760	0	0	319,760	0	1,140	0	1,140	232,981	553,881
2 固定負債										
退職給付引当金	641,612	126,464		768,076	120,310	116,040		236,350	251,420	1,255,846
固定負債合計	641,612	126,464	0	768,076	120,310	116,040	0	236,350	251,420	1,255,846
負債合計	961,372	126,464	0	1,087,836	120,310	117,180	0	237,490	484,401	1,809,727
III 正味財産の部										
1 指定正味財産				0				0		0
2 一般正味財産 (うち特定資産への 充当額)	3,451,836 (641,612)	538,242 (126,464)		3,990,078 (768,076)	1 (120,310)	9,870,854 (116,040)		9,870,855 (236,350)	117,388 (251,420)	13,978,321 (1,255,846)
正味財産合計	3,451,836	538,242	0	3,990,078	1	9,870,854	0	9,870,855	117,388	13,978,321
負債及び正味財産合計	4,413,208	664,706	0	5,077,914	120,311	9,988,034	0	10,108,345	601,789	15,788,048

正味財産増減計算書

自令和3年4月1日
至令和4年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	2,708,000	2,717,000	-9,000
賛助会員受取会費	5,300,000	5,460,000	-160,000
事業収益			
防犯優良マンション事業収益	374,000	431,560	-57,560
風俗環境浄化受託事業収益	2,147,057	3,335,816	-1,188,759
認証シール事業収益	3,000,000	5,285,000	-2,285,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,300,490	3,620,000	-319,510
少年補導員受託収益	4,523,800	4,517,760	6,040
受取民間補助金	800,000	800,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	5,503,738	3,536,000	1,967,738
雑収入			
雑収益	198,300	0	198,300
受取利息	147	140	7
有価証券利息	16,800	16,800	0
経常収益計	27,872,332	29,720,076	-1,847,744
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	13,085,430	13,060,470	24,960
退職給付費用	656,000	656,000	0
福利厚生費	2,236,458	2,281,177	-44,719
旅費交通費	195,250	277,510	-82,260
通信運搬費	631,282	695,178	-63,896
消耗品費	58,105	327,932	-269,827
印刷製本費	580,515	289,691	290,824
光熱水料費	715,671	720,493	-4,822
賃借料	601,103	815,593	-214,490
保険料	813,130	961,260	-148,130
諸謝金	0	50,000	-50,000
租税公課	845,500	1,015,700	-170,200
支払負担金	200,600	200,300	300
少年補導員活動費	534,000	1,333,000	-799,000
支払寄付金	10,000	10,000	0
普及宣伝費	7,656,150	4,153,959	3,502,191
車両運搬費	83,402	89,030	-5,628
雑費	880	880	0
事業費計	28,903,476	26,938,173	1,965,303

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
管理費									
	給料手当	1,000,000			998,510			1,490	
	退職給付費用	55,000			55,000			0	
	福利厚生費	200,000			200,000			0	
	会議費	264,823			270,929			-6,106	
	旅費交通費	21,500			31,790			-10,290	
	通信運搬費	235,430			181,239			54,191	
	消耗品費	9,527			211,931			-202,404	
	印刷製本費	20,636			19,698			938	
	光熱水料費	76,900			72,000			4,900	
	賃借料	41,600			45,000			-3,400	
	諸謝金	110,550			110,550			0	
	租税公課	106,300			125,500			-19,200	
	負担金	778,820			859,120			-80,300	
	雑費	114,469			115,636			-1,167	
	管理費計	3,035,555			3,296,903			-261,348	
	経常費用計	31,939,031			30,235,076			1,703,955	
	当期経常増減額	-4,066,699			-515,000			-3,551,699	
2	経常外増減の部								
(1)	経常外収益								
	経常外収益計	0			0			0	
(2)	経常外費用								
	経常外費用計	0			0			0	
	当期一般正味財産増減額	-4,066,699			-515,000			-3,551,699	
	一般正味財産期首残高	18,045,020			18,560,020			-515,000	
	一般正味財産期末残高	13,978,321			18,045,020			-4,066,699	
II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0			0			0	
	指定財産期首残高	0			0			0	
	指定正味財産期末残高	0			0			0	
III	正味財産期末残高	13,978,321			18,045,020			-4,066,699	

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日
至令和4年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費										
正会員受取会費	708,000			708,000				0	2,000,000	2,708,000
賛助会員受取会費	5,300,000	0		5,300,000				0		5,300,000
事業収益										
防犯優良マンション事業収益	374,000			374,000				0		374,000
風俗環境浄化受託事業収益				0	2,147,057			2,147,057		2,147,057
認証シール事業収益				0		3,000,000		3,000,000		3,000,000
受取補助金等										
受取地方公共団体補助金	3,100,490	200,000		3,300,490				0		3,300,490
少年補導員受託収益		4,523,800		4,523,800				0		4,523,800
受取民間補助金	200,000	600,000		800,000				0		800,000
受取寄付金										
受取寄付金	5,503,738			5,503,738				0		5,503,738
雑収入										
雑収入				0				0	198,300	198,300
受取利息	147			147				0		147
有価証券利息	16,800			16,800				0		16,800
経常収益計	15,203,175	5,323,800	0	20,526,975	2,147,057	3,000,000	0	5,147,057	2,198,300	27,872,332
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	6,900,000	2,384,490		9,284,490	1,372,156	2,428,784		3,800,940		13,085,430
退職給付費用	280,000	118,000		398,000	28,000	230,000		258,000		656,000
福利厚生費	898,718	470,000		1,368,718	231,160	636,580		867,740		2,236,458
旅費交通費	0	0		0	195,250			195,250		195,250
通信運搬費	288,427	169,657		458,084	39,362	133,836		173,198		631,282
消耗品費	20,816	15,462		36,278	9,847	11,980		21,827		58,105
印刷製本料	507,359	73,156		580,515				0		580,515
光熱水費	277,700	235,000		512,700	33,000	169,971		202,971		715,671
賃借料	314,373	199,750		514,123	58,380	28,600		86,980		601,103
諸謝金	0	813,130		813,130				0		813,130
租税公課	173,600	160,600		334,200	58,800	452,500		511,300		845,500
少年補導員活動費		534,000		534,000	37,700	162,900		200,600		200,600
支那運搬費	10,000			10,000				0		10,000
支那運搬費	7,417,887	238,263		7,656,150				0		7,656,150
雑費	0	0		0	83,402			83,402		83,402
事業費計	17,088,880	5,411,508	0	22,500,388	2,147,057	4,256,031	0	6,403,088		28,903,476
管理費										
給料手当									1,000,000	1,000,000
退職給付費用									55,000	55,000
福利厚生費									200,000	200,000
旅費交通費									264,823	264,823
通信運搬費									21,500	21,500
消耗品費									235,430	235,430
印刷製本料									9,527	9,527
光熱水費									20,636	20,636
賃借料									76,900	76,900
諸謝金									41,600	41,600
租税公課									110,550	110,550
少年補導員活動費									106,300	106,300
支那運搬費									778,820	778,820
雑費									114,469	114,469
管理費計									3,035,555	3,035,555
経常費用計	17,088,880	5,411,508		22,500,388	2,147,057	4,256,031		6,403,088	3,035,555	31,939,031
当期経常増減額	-1,885,705	-87,708		-1,973,413	0	-1,256,031		-1,256,031	-837,255	-4,066,699
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計				0				0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計				0				0	0	0
他会計振替額				0				0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,885,705	-87,708		-1,973,413	0	-1,256,031		-1,256,031	-837,255	-4,066,699
一般正味財産期首残高	5,337,541	625,950		5,963,491	1	11,126,885		11,126,886	954,643	18,045,020
一般正味財産期末残高	3,451,836	538,242		3,990,078	1	9,870,854		9,870,855	117,388	13,978,321
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額				0				0	0	0
指定正味財産期首残高				0				0	0	0
指定正味財産期末残高	0			0				0	0	0
III 正味財産期末残高	3,451,836	538,242		3,990,078	1	9,870,854		9,870,855	117,388	13,978,321

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場 所 ・ 数 量	使 用 目 的 等	当 年 度
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
手 持 現 金	手 元 保 管	運 転 資 金 と し て	89,000
普 通 預 金	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	1,207,461
	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	1,117,522
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	665,401
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	214,947
	兵庫県警察信用組合本店	運 転 資 金 と し て	2,575,059
	みずほ銀行神戸支店	運 転 資 金 と し て	5,316,986
現金預金合計			11,186,376
(2) 未 収 金	環境受託収入3月分・ふるさと納税		345,820
流動資産合計			11,532,196
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当金預金	三井住友銀行神戸公務部		1,255,846
特定資産合計			1,255,846
(2) その他の固定資産			
什 器 備 品	パソコン 4 台	各 事 業 に 使 用	4
	シュレッダー 1 台	各 事 業 に 使 用	1
	まもりちゃん着ぐるみ 1 体	公 益 目 的 事 業	1
投資有価証券	第 398 回 大 阪 府 公 募 公 債 (10 年)	公 益 目 的 事 業	3,000,000
その他の固定資産計			3,000,006
固定資産合計			4,255,852
資 産 合 計			15,788,048
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金		ETC 等 銀 行 引 落 分	9,428
預 り 金		マンション申請料・社会保険料・所得税	544,453
流動負債合計			553,881
2 固 定 負 債			
退職給付引当金			1,255,846
固定負債合計			1,255,846
負 債 合 計			1,809,727
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			0
2 一 般 正 味 財 産			13,978,321
(うち特定資産への充当額)			(1,255,846)
正 味 財 産 合 計			13,978,321
負債及び正味財産合計			15,788,048

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の保有区分は満期保有目的であり、「総平均法による原価法」によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定率法による。

(3) 引当金の計上基準

退職給与引当金

平成24年11月に中小企業退職金共済に加入し、当年度分掛金は各事業会計から支出している。

専務理事の引当金については規程に基づき積み立てている。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	952,840	303,006	0	1,255,846

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	1,255,846	0	303,006	1,255,846

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	708,589	708,585	4
シュレッダー	199,500	199,499	1
着ぐるみ	756,000	755,999	1
計	1,664,089	1,664,083	6

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(内180,490円は未収)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
兵庫県補助金	兵庫県	0	3,300,490	3,300,490	0

付属明細書

1 特定資産の明細

区 分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産	退職給付引当資産	952,840	303,006	0	1,255,846

2 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	952,840	303,006	0	0	1,255,846